

景観配慮協議結果通知書

鎌 都 景 第 83 号 21
令和8年（2026年）7月17日

大和地所レジデンス株式会社 代表取締役社長 下村 俊二 様
NTT都市開発株式会社 代表取締役社長 池田 康 様

鎌倉市長 松 尾 崇



次のとおり通知します。

配 慮 協 議 番 号	第 7-27 号
土 地 利 用 類 型 の 名 称	海浜住商複合地
景 観 地 区	☐ 内 () ☒ 外
行 為 の 場 所 (地 名 地 番)	鎌倉市由比ガ浜四丁目1102番4 ほか2筆
行 為 の 種 類	建 築 物 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 移転 開 発 ☐ 土地の区画の変更 ☒ 土地の形質の変更
特 定 地 区	☐ 内 (☐ 由比ガ浜 ☐ 由比ガ浜中央 ☐ 鎌倉芸術館周辺) ☒ 外
協 議 事 項	<地区の特性・課題> ・低中層の住宅が主体で、特に海沿いの低地部は漁港のまちとして発展してきた。 ・後背には別荘地・保養地の面影を残す良好な住宅地が広がっているが、敷地の細分化・共同住宅・車対応の商業施設への土地利用転換が目立っている。 ・道路幅員が狭く、戸建て住宅が密集している場所は、海岸沿いの漁港のまちといった独特の雰囲気を持つ面もあるが、一方では防災上の課題を有している。 <景観形成基準に係る協議内容> ・建物の基調色は景観計画に適合している。 ・敷地内は適切に緑化されている。 届出者から景観配慮協議終了申出書が提出されたため、協議を終了する。
備 考	